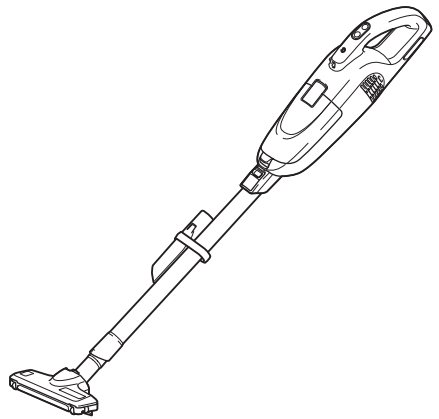


Makita

取扱説明書

充電式クリーナ

モデル **CL115FD**
(充電器 DC1001 付)



このたびは充電式クリーナをお買い上げ
賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく
お読みいただき本製品の性能を十分ご理
解の上で、適切な取り扱いと保守をして
いただいて、いつまでも安
全に能率よくお使いくださ
るようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお
手元に大切に保管してくだ
さい。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 各部の名称	13
・ 標準付属品	14
・ 別販売品のご紹介	16
・ 充電のしかた	18
・ 使い方	20
・ ご使用前の注意点	20
・ スイッチの操作	20
・ バッテリー切れお知らせランプ（充電ランプ）	21
・ LED ライト	21
・ ストレートパイプ（ロック付）の取り付け方・取りはずし方	22
・ フロア・カーペットノズルの取り付け方・取りはずし方	23
・ クリーナと付属品の使い方	24
・ ゴミの捨て方	27
・ ダストバッグ／紙パックの取り付け方	29
・ ダストバッグ／紙パック使用時の注意点	29
・ ダストバッグの取り付け方	30
・ 紙パックの取り付け方	31
・ 保管について	33
・ 本製品の立て掛け方	33
・ お手入れについて	34
・ 本製品のお手入れ	34
・ フロア・カーペットノズルのお手入れ	34
・ ダストバッグのお手入れ	35
・ ゴミストッパー（オレンジ色部品）のお手入れ	35
・ スポンジフィルタのお手入れ	36
・ スポンジフィルタの取り付け方	36
・ 保護機能	37
・ 故障かな？と思ったら	38
・ 修理をお申し付けになる前に	38
・ バッテリーの交換方法	40
・ バッテリーのはずし方	40
・ バッテリーの取り付け方	42
・ バッテリーを長持ちさせるには	44
・ 本製品を廃棄処分するときは	44
・ リチウムイオン充電電池（バッテリー）のリサイクルについて	44
・ 充電式クリーナ 保証書	48

主要機能

主要機能	モデル	CL115FD
電動機		直流マグネットモータ
バッテリー		リチウムイオンバッテリー
電圧		直流 10.8 V
連続使用時間		パワフル：約 10 分 強：約 16 分 標準：約 50 分
集じん容量		500 mL (ダストバッグ) 330 mL (紙パック)
本製品寸法		長さ 457 mm × 幅 113 mm × 高さ 136 mm [ストレートパイプ (ロック付) およびフロア・カーペットノズル取り付け時の長さ 983 mm]
質量		1.0 kg (本製品のみ)

充電器		DC1001
入力電圧		単相交流 100 V
入力周波数		50-60 Hz
入力容量		8.5 W
出力電圧		13.7 V
出力電流		0.505 A
充電時間		約 4 時間 (注 1)
耐用充電回数		約 500 回 (注 1)

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注 1：使用状況によっては充電時間、耐用充電回数は変動します。

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。
- ・ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例






このような絵表示は、
してはいけない「禁止」
内容です。



このような絵表示は、
必ず実行していただく
「強制」内容です。

※イラストは参考例です。製品によりデザインが異なりますのでご了承ください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

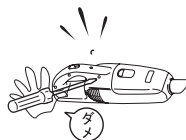
：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

- 水洗いしない。また、風呂場など湿った場所やぬれた場所で使用しない。
 - 感電する場合があります。



- 絶対に分解したり修理・改造しない。
 - 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



- 子供に本製品や充電器で遊ばせない。
 - 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。



- クリーナの誤始動を防ぐために、次の作業の際は必ずスイッチを切り、スイッチに指がかからないように注意する。



- ゴミ捨て
- フィルタ類の清掃（お手入れ）
- 保管
- その他危険が予想される作業

- 使用済みのバッテリーを交換する際は、スイッチが入らないように注意する。



- スイッチに指をかけるなど、スイッチが入る状態でバッテリーを装着すると、急に動きだし事故につながります。

- 本製品の吸込口や排気口に手、髪または身に着けたものを入れない。
 - けがの原因になります。



⚠ 警告

- ・ 屋外で使わない。



- ・ 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



- ・ 以下のものは吸わせない。火災やけがやモータの故障の原因となる。



引火性物質

- ・ 油類（灯油・ガソリンなど）
- ・ 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
- ・ マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
- ・ トナーなどの可燃物
- ・ 塗料
- ・ 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
- ・ 可燃性ガス（スプレーなど）
- ・ じゅうたん洗浄剤などの泡状のものなど

爆発性物質

- ・ ニトログリセリンなど

発火性物質

- ・ アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

鋭利なもの（ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピン、針、クリップなど）

固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）

除湿剤

多量の粉末（小麦粉、灰、消火器の粉など）

人体に有害な物質（アスベストなど）、中毒症状を起こす物質

薬品類

液体や湿ったゴミ

動物などの排泄物、吐しゃ物

多量の砂や土砂

⚠ 警告

- 使用中、本製品の調子が悪かったり、異臭や発熱、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止する。



- そのまま使用していると、けがや事故の原因になります。点検・修理をお申し付けください。

- マキタが指定した付属品や別販売品以外を使用しない。



- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品や別販売品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあります。

- 作業場の周囲状況も考慮する。



- 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。

- 無理な姿勢で作業をしない。



- 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。

- 火気や暖房器具などに近づけない。



- 本製品の変形による、短絡（ショート）、発火の原因になります。

- 引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー、ガスなど）の近くで充電したり、使用しない。



- 爆発や火災の原因になります。

⚠ 警告

・ 損傷した部品がないか点検する。



- ・ 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、修理をお申し付けください。
- ・ スイッチで始動、および停止操作のできない充電製品は、使用しないでください。

・ 充電式クリーナは、注意深く手入れをする。



- ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ 充電器のコードは定期的な点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的な点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

・ 温度が 50 °C を超える可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しない。



- ・ 本製品の変形による、短絡（ショート）、発火の原因になります。
- ・ 内蔵のバッテリーが劣化する原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

・ 使用しない場合は、乾燥した、子供の手の届かない安全な所、または鍵がかかる所に保管する。



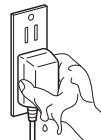
- ・ 事故の恐れがあります。

・ 雨中や湿った場所で充電したり、ぬれた手で電源コンセントや電源プラグ、給電プラグを抜き差ししない。

・ 充電器の電源プラグや給電プラグに金属片・水などの異物を近づけない。



- ・ 感電やけがをすることがあります。



⚠ 警告

- 交流 100 V で充電する。



- 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機で充電しないでください。火災の原因になります。

- 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに充電器の電源プラグと給電プラグを抜いて充電を中止する。



- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

- 本製品専用の充電器以外は使用しない。



- バッテリーの液もれ、発熱、破裂の原因になります。

- 充電器は充電以外の用途に使用しない。また、バッテリーや充電器を本製品以外に使用しない。



- 充電器が電源コンセントに差し込まれたまま、充電器の給電プラグを本製品から取りはずして放置しない。



- 通電したままの充電器の給電プラグを子供などが口にくわえたりすると感電の原因となります。

- 充電器のコードを乱暴に扱わない。



- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、薬品、角のある所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

⚠ 警告

- ・ 充電器のコードが傷んだり、電源プラグの差し込みがゆるいときは使用しない。



- ・ 感電、短絡（ショート）、発火の原因になります。

- ・ 充電しないときは、充電器を電源コンセントから抜く。



- ・ 絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。

- ・ 本製品から取りはずしたバッテリーは発熱、発火、破裂の恐れがあるので、次のようなことをしない。



- ・ 端子に金属類を接触させないでください。
- ・ 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れてください。
- ・ 雨や水にぬらさないでください。
- ・ 分解、改造はしないでください。
- ・ 火中に投入しないでください。

- ・ 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液もれすることがあるため、もれ出た液体に不用意に触れない。



- ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。バッテリーの液は炎症ややけど、失明の原因になることがあります。

- ・ マキタ指定以外のバッテリー、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しない。また、バッテリーをマキタが指定した製品以外で使用しない。



- ・ 本製品の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

- ・ バッテリーや充電器を充電中に布などで覆わない。



- ・ 換気の良い場所で充電してください。発熱や破裂、発火の原因になります。

⚠ 警告

- ・ 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しない。
 - ・ 発熱や破裂、発火の原因になります。



- ・ 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しない。
 - ・ 継続して使用すると、発熱や破裂、発火の原因になります。



- ・ 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てない。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。



- ・ 十分な防じん対策をしてください。



- ・ アスベスト（石綿）周辺的环境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。



- ・ アスベスト（石綿）周辺的环境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。



⚠ 注意

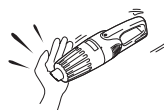
- 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付ける。
 - 確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。



- フィルタを正しく取り付ける。
 - フィルタを確実に取り付けないまま使用したり、穴のあいたフィルタを取り付けての使用などは、モータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。



- 吸引口をふさいで長時間運転しない。
 - 過熱による本製品の変形、発火の原因になります。



- 排気口をふさがない。
 - 火災の原因になります。



- 高所で使用するときは、本製品を落下しないように注意する。また、持ち運ぶときはノズルやストレートパイプを持たないで必ず本製品のハンドルを持って運ぶ。
 - 本製品などを落としたときなど、事故やけがの原因になります。

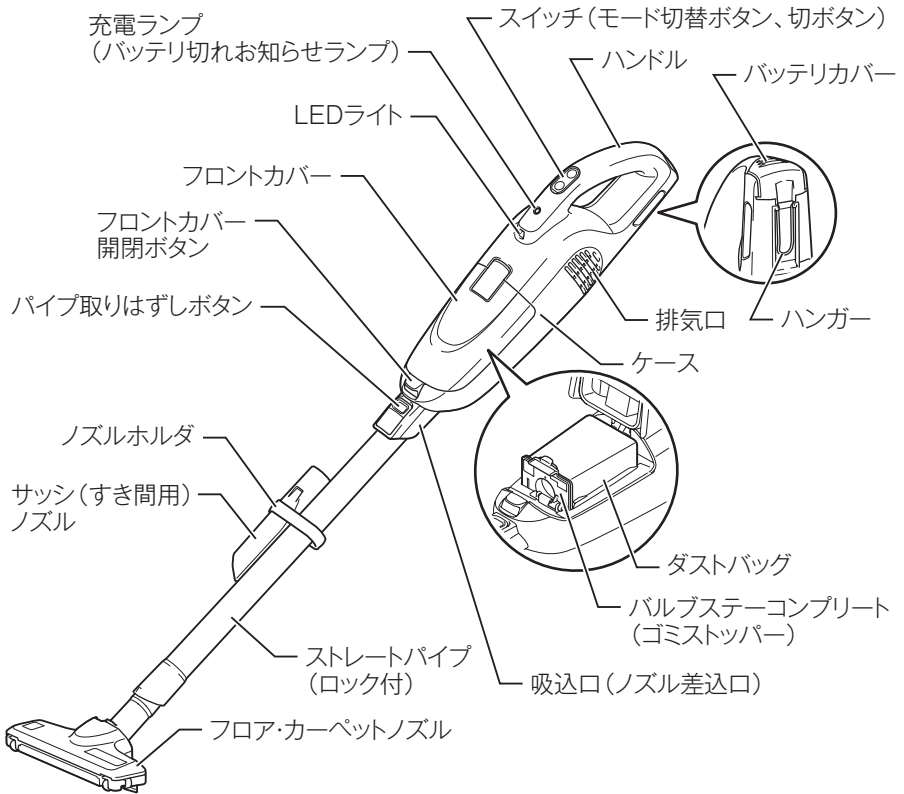


- バッテリーは交換時以外では触らない。



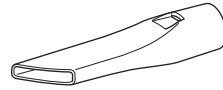
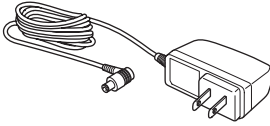
各部の名称

はじめに内容物を確認してください。

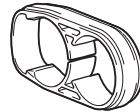
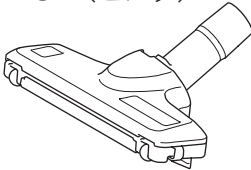


標準付属品

- 標準付属品の購入を希望される場合は、下記部品番号でお買い上げの販売店、または当社営業所までお申し付けください。
- 充電器 DC1001
部品番号：
JPADC1001
- サッシ（すき間用）ノズル
部品番号：
413769-1（アイボリー）
413860-5（レッド）
413862-1（ピンク）

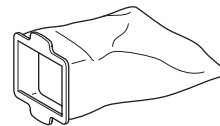


- フロア・カーペットノズル※
部品番号：
A-59922（アイボリー）
A-59938（レッド）
A-61282（ピンク）
- ノズルホルダ
部品番号：
459036-0（アイボリー）
413966-9（レッド）
413967-7（ピンク）



※毛足7 mm以下のカーペットに対応しています。

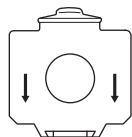
- ストレートパイプ（ロック付）
部品番号：
458940-0（アイボリー）
413964-3（レッド）
413965-1（ピンク）
- ダストバッグ（1枚入り）※
部品番号：
A-43957



※白色の不織布製。購入時は本製品に取り付けてあります。洗浄して繰り返し使えます。

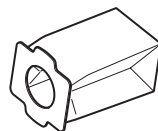
標準付属品

- ・ バルブステーコンプリート
（ゴミストッパー）※
部品番号：
142650-6



※オレンジ色。購入時、本製品に取り付けてあります。

- ・ 抗菌紙パック（10枚入り）※
部品番号：
A-48511



※水色。使い捨て。

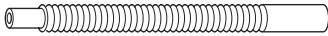
注

- ・ オレンジ色のゴミストッパーは交換時に捨てないでください。
ダストバッグ（白色の不織布製）または紙パック（水色）のどちらを取り付ける場合も使用します。

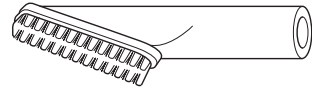
別販売品のご紹介

- 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所にお問い合わせください。

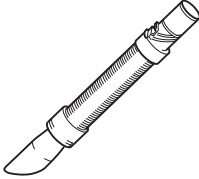
- フレキシブルホース
部品番号：
A-37568（アイボリー）
A-52526（レッド）
A-61307（ピンク）
（自由に曲がるため、車などの狭い場所の掃除に便利です。）



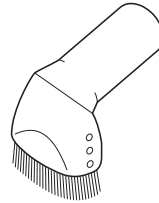
- 棚ブラシ
部品番号：
A-37552（アイボリー）
A-52510（レッド）
A-61298（ピンク）



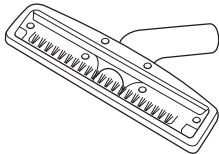
- ロック付クリーナー用伸縮
フレキシブルホース
部品番号：
A-70362（スノーホワイト）
A-72497（ブラック）



- ラウンドブラシ
部品番号：
A-37471（アイボリー）
A-52532（レッド）
A-61313（ピンク）



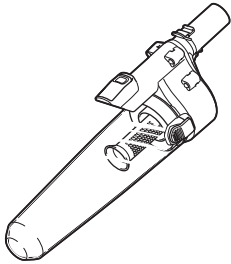
- じゅうたん用ノズル
部品番号：
A-37546（アイボリー）
A-52504（レッド）



- リチウムイオンバッテリー
部品番号：
191U64-2

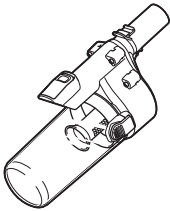
別販売品のご紹介

- ・ ロック付サイクロンアタッチメント※
部品番号：
A-68856（スノーホワイト）
- ・ ストレートパイプ 340（ロック付）※
部品番号：
459481-9



※ストレートパイプ 340（ロック付）と合わせて使用するとストレートパイプ（ロック付）と同じ長さになります。

- ・ ロック付ショートサイクロンアタッチメント※
部品番号：
A-72453（スノーホワイト）



※ストレートパイプ 340（ロック付）と合わせて使用するとストレートパイプ（ロック付）と同じ長さになります。



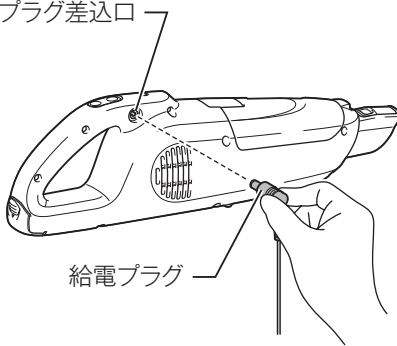
※ロック付サイクロンアタッチメント、ショートサイクロンアタッチメントと合わせて使用するとストレートパイプ（ロック付）と同じ長さになります。
※ロックが付いていないサイクロンアタッチメントには取り付けられませんのでご注意ください。

充電のしかた

初めてご使用になる前に、必ず充電を行ってください。

- ①充電器プラグ差込口に充電器の給電プラグを接続した後、充電器の電源プラグを家庭用コンセントに差し込めば、充電が始まります。
充電中は本製品スイッチ前側にある、充電ランプが赤く点灯します。
- ②充電が完了すると充電ランプが消えます。バッテリー切れお知らせランプが点滅した状態から、充電完了するまでの時間は約4時間です。
・初めてお使いになる前に充電されるときは、より短時間で完了します。

充電器プラグ差込口



⚠ 注意

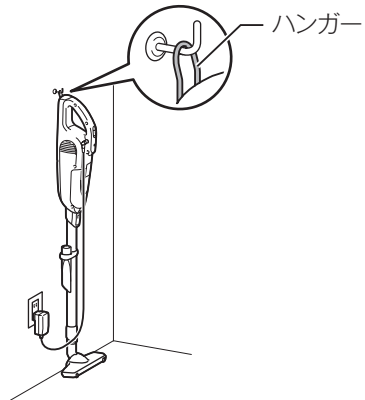
本製品を立て掛けた状態で充電する場合は、ハンガーを市販のフックなどに掛けてから充電してください。

ハンガーを掛けるのが難しい場合は、本製品をねかせた状態で充電してください。

- ・市販のフックなどを使用せずに立て掛けると、転倒して故障やけがの恐れがあります。

充電中は充電器本体の温度上昇がありますが、異常ではありません。

充電中はモード切替ボタンを押しても、本製品は動作しません。給電プラグを本製品から取りはずしてからボタンを操作してください。



充電のしかた

◎バッテリーには寿命があります。

バッテリー切れの状態から充電しても短時間で充電ランプが消えてしまう場合や、充電しても使用時間が購入時の半分以下になった場合は、バッテリーの寿命（不良、故障）と考えられます。

- ・ 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜き、バッテリーを交換してください（40 ページの“バッテリーの交換方法”参照）。

◎バッテリーの耐用充電回数は約 500 回です。

使用状況によって、この耐用充電回数は変動します。

注

- ・ 充電完了後は、電源コンセントから充電器の電源プラグをはずし、本製品から充電器の給電プラグをはずしてください。
- ・ 給電プラグを本製品につないだまま使用しないでください。故障の原因になります。
- ・ バッテリーの温度が 0 °C 未満の場合、充電を開始しないことがあります。

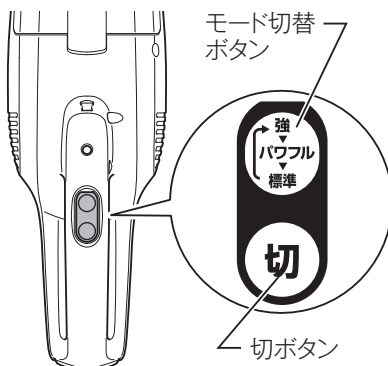
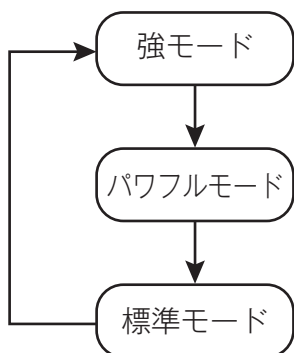
使い方

ご使用前の注意点

- ・ ご使用前に、ダストバッグまたは紙パックが正しく取り付けられていることを確かめてからお使いください。
 - ・ 正しく取り付けられていないと、モータ部にゴミが入り故障の原因になります。
- ・ ご購入時はあらかじめダストバッグが取り付けられています。洗浄がご面倒な場合は使い捨ての紙パックをお使いください（31 ページの“紙パックの取り付け方”参照）。
- ・ ダストバッグや紙パックは、本製品の性能を維持するための大切な機能部品です。必ずマキタ純正品をお使いください。
 - ・ マキタ純正品以外のダストバッグや紙パックを使用した場合はモータの発煙や発火の原因になります。
- ・ 故障を防ぎ、バッテリーを長持ちさせるために、使用後は必ずスイッチを切ってください。

スイッチの操作

- ・ 本製品は必要に応じて「吸引力」を次の3段階に切り替えて使用できます（カッコ内は連続使用時間目安）。
 - ① 強モード（16分）…汚れのひどい場所でお使いください。
 - ② パワフルモード（10分）…「強モード」では対応できない汚れのひどい場所でお使いください。
 - ③ 標準モード（50分）…汚れが少ない場所の掃除に最適です。
- ・ 電源が切れている状態から「モード切替ボタン」を1回押すと「強モード」で運転を開始します。
- ・ 「モード切替ボタン」を押すごとに、下記のようにモードが切り替わります。
- ・ 「切ボタン」を押すと本製品の電源が切れます。

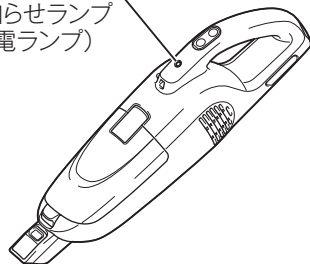


使い方

バッテリー切れお知らせランプ（充電ランプ）

- ・「バッテリー切れお知らせランプ」が赤く点滅または点灯した際は、本製品のバッテリーを充電してください。（18 ページの“充電のしかた”参照）
- ・ご使用中にバッテリーの容量が少なくなると「バッテリー切れお知らせランプ」が点滅します。
- ・バッテリーの容量がさらに少なくなるとモーターが自動停止し、「バッテリー切れお知らせランプ」が約 10 秒点灯した後、消灯します。

バッテリー切れ
お知らせランプ
（充電ランプ）

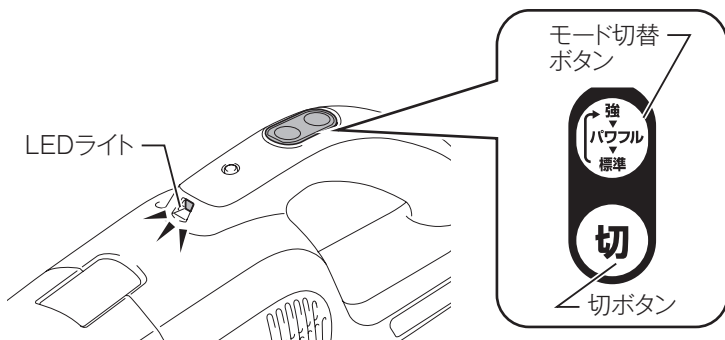


注

- ・「バッテリー切れお知らせランプ」の点灯、点滅のタイミングは、周囲の温度やバッテリーの状態によって変化します。

LED ライト

- ・本製品は作動時、薄暗い所のお掃除に便利な LED ライトが点灯します。
 - ・「モード切替ボタン」を押して運転を開始すると、運転中 LED ライトが自動で点灯します。
 - ・「切ボタン」を押すと消灯します。



注

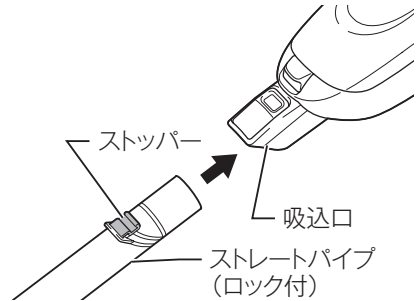
- ・バッテリー切れなどによりモーターが自動停止した場合は、LED ライトも自動で消灯します。

使い方

ストレートパイプ（ロック付）の取り付け方・取りはずし方

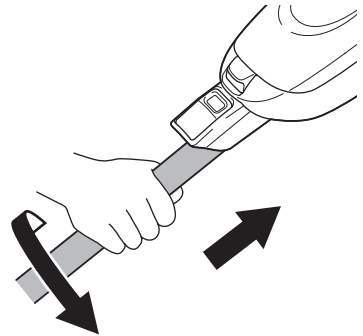
取り付け方

1. ストレートパイプ（ロック付）のストッパーが付いている側を上にして、吸込口の溝に合わせます。
2. パイプをしっかり差し込みます。カチッと音が鳴り、ストッパーがロックされます。
3. パイプを軽く引っ張り、はずれないか確認します。



注

- パイプを差し込む際、上下の向きが合っていない場合は、ストッパーがロックされず、パイプがはずれる恐れがあります。
- 別販売品のストレートパイプ（ロックなし）を使用する場合
 - ・ しっかりとねじ込んで取り付けてください。



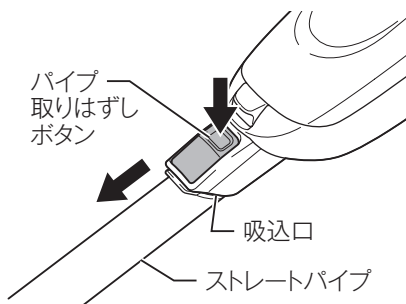
使い方

取りはずし方

- ・ 吸込口の「パイプ取りはずしボタン」を押し込みながら、パイプを抜き取ります。

注

- ・ 別販売品のストレートパイプ（ロックなし）の場合は、取り付けと同じ要領で、ねじりながら抜き取ってください。



フロア・カーペットノズルの取り付け方・取りはずし方

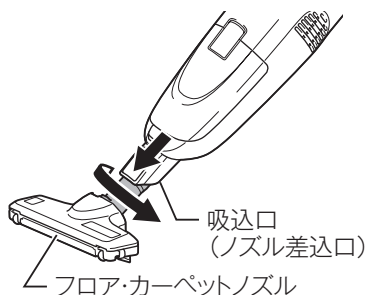
取り付け方

- ・ フロア・カーペットノズルを取り付ける際は、フロア・カーペットノズルのパイプをストレートパイプ（ロック付）や本製品の吸込口に、使用中に抜けないようにしっかりとねじ込んで取り付けます。



取りはずし方

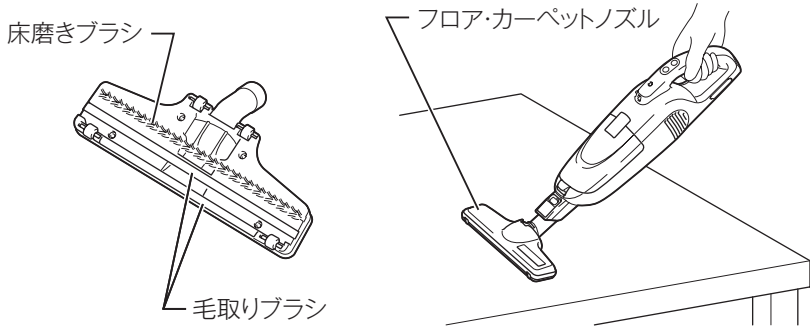
- ・ 取り付けと同じ要領で、ストレートパイプ（ロック付）や本製品の吸込口からフロア・カーペットノズルのパイプをねじりながら抜き取ります。



使い方

クリーナと付属品の使い方

フロア・カーペットノズル



- ・ テーブル・家具・棚などの上を掃除されるときは、ノズルを本製品に直接差し込んで、ご使用ください。

※毛足 7 mm 以下のカーペットに対応しています。

※ノズルを床面に押し付け過ぎず、軽く滑らせるように使用してください。

毛取りブラシ：ノズルを前後させる動きによって、カーペット上のゴミをからめ取ります。

床磨きブラシ：フローリングなどの床を磨く効果があります。

フロア・カーペットノズル+ストレートパイプ（ロック付）

- ・ たたみ・カーペット・床など低い所を掃除されるときは、本製品とノズルの間にストレートパイプ（ロック付）を差し込めば立ったままの姿勢で楽に掃除ができます。

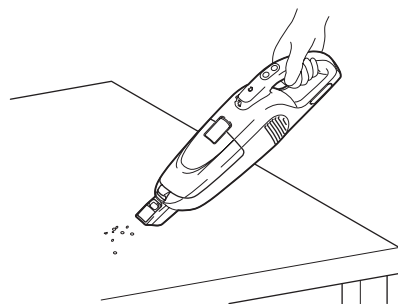
※ノズルを床面に押し付け過ぎず、軽く滑らせるように使用してください。



使い方

ちょっとしたお掃除に

- ・ こぼした粉などは本製品で直接吸い込めます。



ちょっとしたお掃除にストレートパイプ（ロック付）を使う

- ・ 床にこぼした粉などを掃除するときは、ストレートパイプ（ロック付）を使用すると立ったままの姿勢で楽に掃除ができます。



使い方

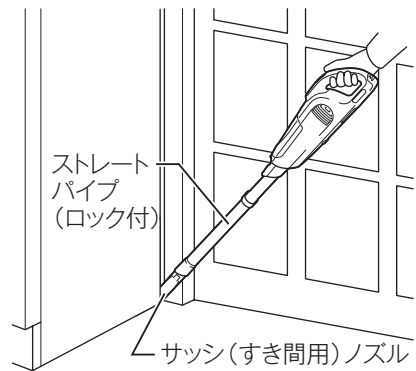
サッシ（すき間用）ノズルを使う

- ・ 自動車の中や家具などのすき間、サッシの溝など狭い場所を掃除されるときは、サッシ（すき間用）ノズルを本製品に直接差し込んでお使いください。



サッシ（すき間用）ノズル+ストレートパイプ（ロック付）

- ・ 家具の奥など本製品が当たって入らないときや高い所のすき間などを掃除されるときは、サッシ（すき間用）ノズルと本製品の間にはストレートパイプ（ロック付）を差し込んで、お使いください。



ゴミの捨て方

ゴミを溜め過ぎると吸込力が低下します。次の手順に従って早目にゴミを捨ててください。

⚠ 警告

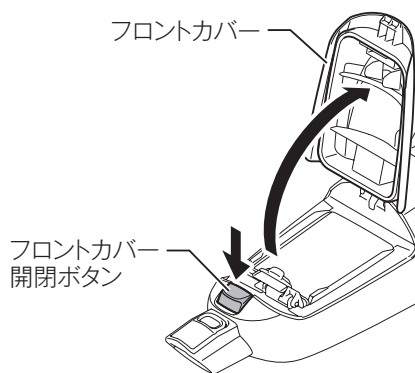
ゴミ捨てやフィルタ類を清掃、交換する際は、本製品のスイッチを入れないように注意してください。

- ・ 不意にスイッチが入るとスポンジフィルタの奥にあるファンが回りだし、けがや故障の原因になります。

指や棒などをスポンジフィルタより奥に入れしないでください。

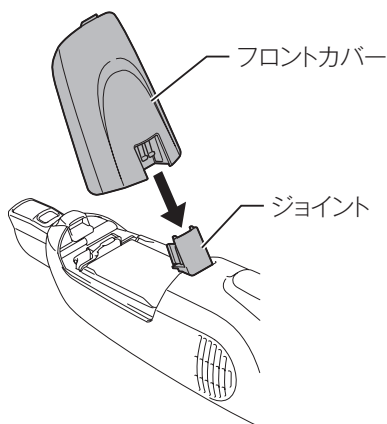
- ・ けがや故障の原因になります。

1. フロントカバー開閉ボタンを押して、フロントカバーを開きます。“カチッ”と音がするまで開くと、その状態で固定できます。



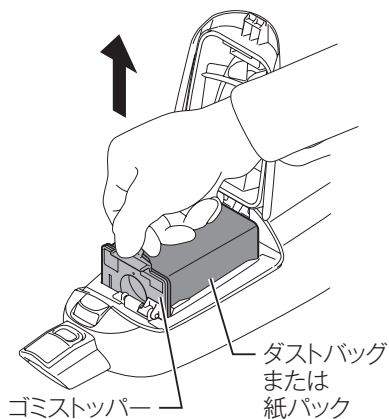
注

- ・ フロントカバーを 90° 以上開こうとすると、本製品からはずれます。
- ・ フロントカバーを取り付けるには、図のようにジョイントにフロントカバーを差し込んでください。
- ・ フロントカバーを閉じる際は、指をはさまないように注意してください。

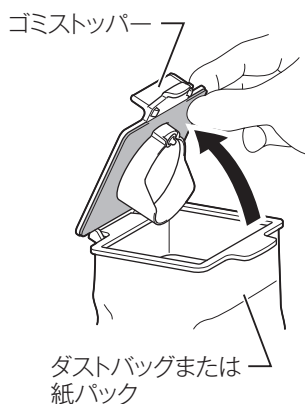


ゴミの捨て方

- オレンジ色のゴミストッパーとダストバッグ、または紙パックを一緒に引き抜きます。



- ゴミストッパーを取りはずします。



- ゴミを捨てます。

紙パックは使い捨てです。
ゴミが溜まりましたら紙パックごと捨ててください。
・ 再度使用はしないでください。
・ 目づまりを起こして吸引力を落とします。

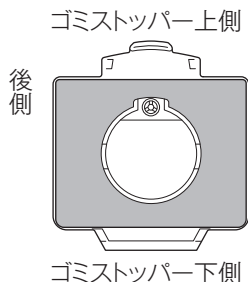
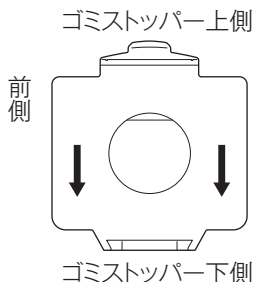
注

- オレンジ色のゴミストッパーは捨てないでください。ダストバッグまたは紙パックのどちらを取り付ける際にも使用します。
 - ゴミストッパーとダストバッグ、またはゴミストッパーと紙パックを組み合わせずに取り付けるとフロントカバーが閉まらない構造になっています。
- ケース内にゴミがあるときは必ず捨ててください。
 - 本製品内部のスポンジフィルタの目づまりや、モータ故障の原因になります。

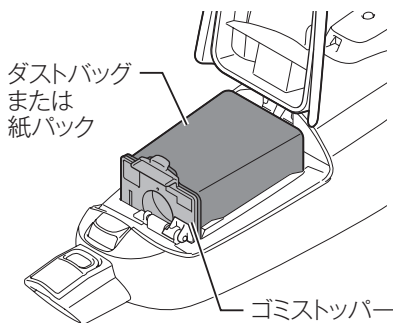
ダストバッグ / 紙パックの取り付け方

ダストバッグ / 紙パック使用時の注意点

- ・ ダストバッグまたは紙パックのどちらかを取り付けます。購入時にはあらかじめダストバッグが取り付けられています。
- ・ ダストバッグまたは紙パックの取り付けにはオレンジ色のゴミストッパーを使用します。上下方向の区別があるのでお気を付けください。



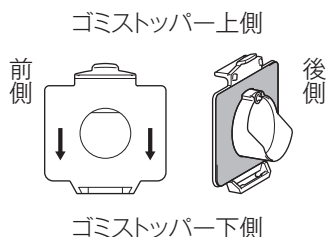
- ・ オレンジ色のゴミストッパーは捨てないでください。
 - ・ ダストバッグまたは紙パックのどちらを取り付ける際にも使用します。
- ・ 本製品には必ず、オレンジ色のゴミストッパーとダストバッグまたは紙パックを取り付けてください。取り付けしていない場合は、本製品のフロントカバーを閉じることができません。
 - ・ 本製品のフロントカバーが閉じない場合は、上記いずれかの部品が取り付けしていない可能性があります。ご確認ください。
- ・ ダストバッグは洗浄して繰り返し使用できます (35 ページの“ダストバッグのお手入れ”参照)。
 - ・ 洗浄が面倒な場合は使い捨ての紙パックをお使いください。
- ・ 紙パックは使い捨てです。ゴミが溜まりましたら紙パックごと捨ててください。
 - ・ 再度使用はしないでください。目づまりを起こして吸引力を落とします。



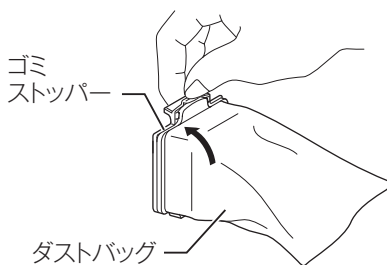
ダストバッグ / 紙パックの取り付け方

ダストバッグの取り付け方

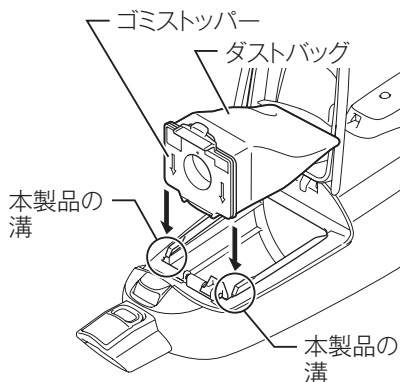
1. オレンジ色のゴミストッパー下側の溝に、ダストバッグの凸部を差し込みます。
ダストバッグには上下方向の区別はありません。どちらか一方の凸部をゴミストッパー下側の溝に差し込んでください。



2. ゴミストッパーとダストバッグを重ね合わせます。

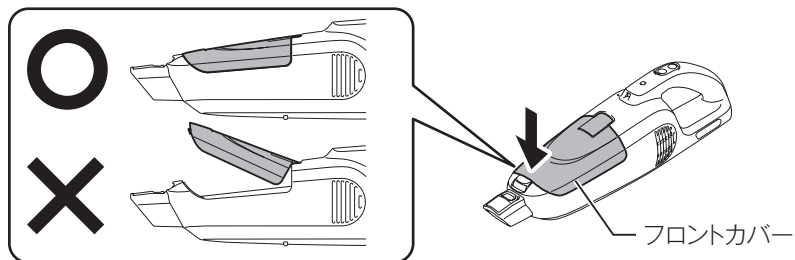


3. ゴミストッパーとダストバッグを一緒に、本製品の溝の奥までしっかり差し込みます。
 - ・ ゴミストッパーの矢印が下向きになるように取り付けてください。
 - ・ このときダストバッグの布側もケースにすべて収めてください。



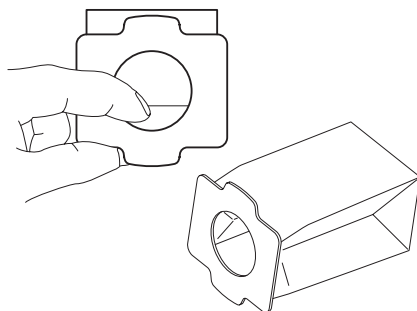
ダストバッグ / 紙パックの取り付け方

4. フロントカバーを閉めます。
カバーがしっかり閉まっているか確認してください。閉まらない場合は29ページを参考に確認してください。



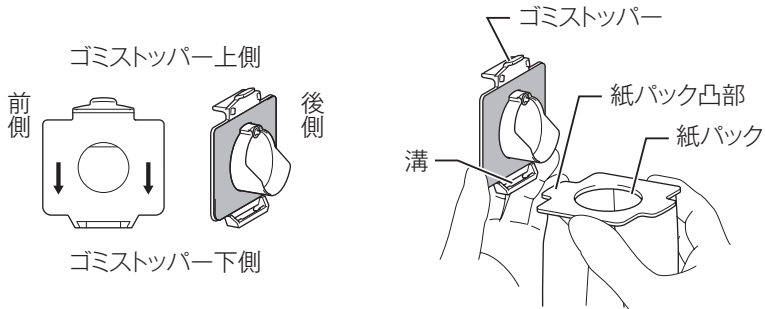
紙パックの取り付け方

1. 紙パックの入り口を広げます。

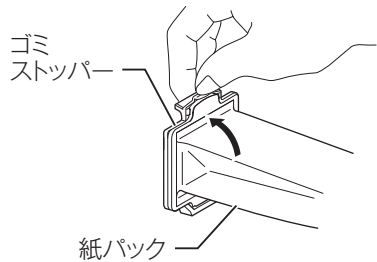


ダストバッグ / 紙パックの取り付け方

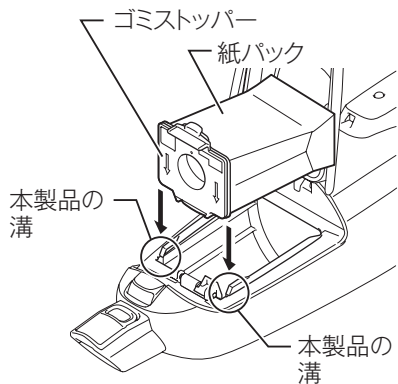
2. オレンジ色のゴミストッパー下側の溝に、紙パックの凸部を差し込みます。
紙パックには上下方向の区別はありません。どちらか一方の凸部をゴミストッパー下側の溝に差し込んでください。



3. ゴミストッパーと紙パックを重ね合わせます。



4. ゴミストッパーと紙パックを一緒に、本製品の溝の奥までしっかり差し込みます。
- ・ ゴミストッパーの矢印が下向きになるように取り付けてください。
 - ・ このとき紙パックの袋側もケースにすべて収めてください。
 - ・ 紙パックは使い捨てです。再利用しないでください。

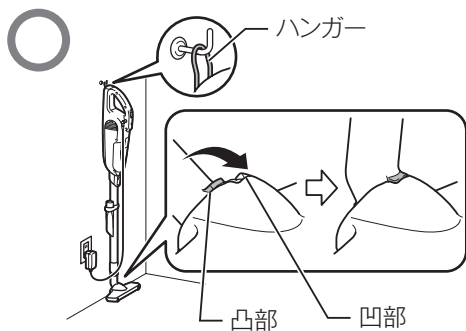


5. フロントカバーを閉めます（要領は 31 ページ参照）。

保管について

本製品の立て掛け方

- ・ 充電するときや保管するときは、ノズルの凹凸をはめ合わせ、本製品裏側のハンガーを起こし、市販のフックなどに掛けてください。



注

- ・ 市販のフックなどを使用せずに立て掛けると、転倒して故障やけがの恐れがあります。

お手入れについて

⚠ 警告

フィルタ類を清掃、交換する際は、本製品のスイッチを入れないように注意してください。

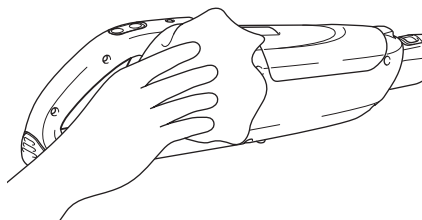
- ・ 不意にスイッチが入るとスポンジフィルタの奥にあるファンが回りだし、けがや故障の原因になります。

指や棒などをスポンジフィルタより奥に入れしないでください。

- ・ けがや故障の原因になります。

本製品のお手入れ

- ・ 本製品の汚れは、布に薄めた中性洗剤を少量しみ込ませて拭き取ってください。
- ・ 吸込口、ダストバッグ収納部に付いたゴミも拭き取ってください。

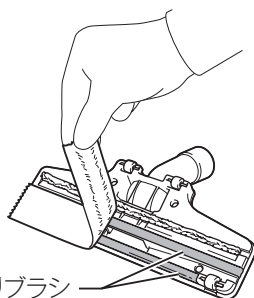


注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。
- ・ エアダスタなどでの掃除は避けてください。
 - ・ 排気口より粉じんなどが本製品内部に入り込み、故障の原因となります。

フロア・カーペットノズルのお手入れ

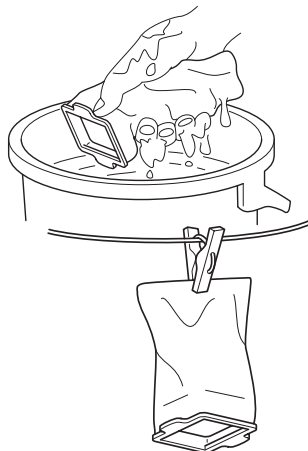
- ・ フロア・カーペットノズルの毛取りブラシにゴミが溜まり、ゴミ取れ性が低下したときは、図のようにガムテープなどで毛取りブラシに付いたゴミを取り除いてください。



お手入れについて

ダストバッグのお手入れ

- ・ ダストバッグが汚れて吸込力が低下したときは、薄めた中性洗剤でもみ洗いし、完全に乾燥させてからお使いください。

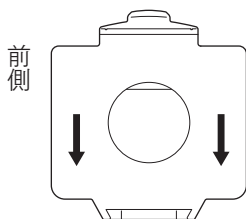


注

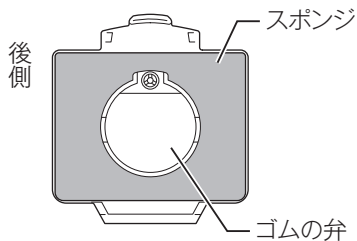
- ・ 乾燥が不十分のまま使用しないでください。
 - ・ 吸じん力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因となります。
- ・ 紙パックは使い捨てです。再利用できません。
- ・ ダストバッグは消耗品です。傷んできたときや、破れたときは新しいダストバッグと交換してください。

ゴミストッパー（オレンジ色部品）のお手入れ

- ・ オレンジ色のゴミストッパーに付いたゴミは拭き取ってください。
- ・ スポンジ部分の表面に付いた大きなゴミや汚れなどは、軽くはらい落としてください。



前側



後側

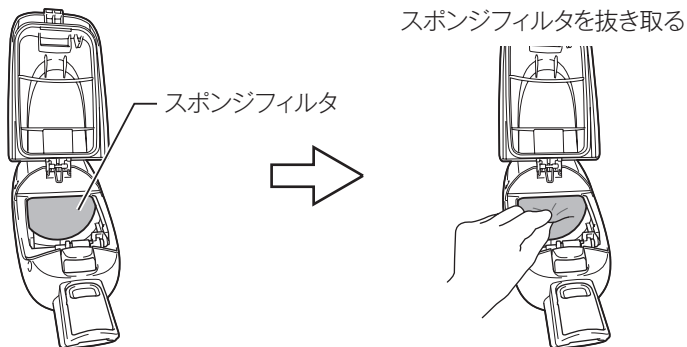
注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。変色、変形、亀裂の原因となります。

お手入れについて

スポンジフィルタのお手入れ

1. ダストバッグまたは紙パックを取りはずします（要領は27ページ参照）。
2. ダストバッグ収納部の奥に見える黒いスポンジフィルタを抜き取ります。
3. スポンジフィルタをはたくか、水洗いしてください。

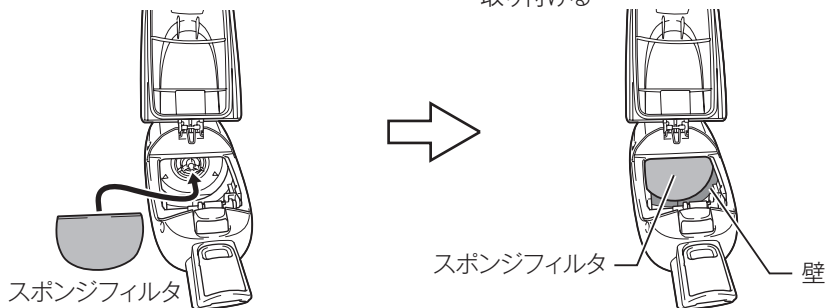


スポンジフィルタの取り付け方

- ・ スポンジフィルタの端を、ダストバッグ収納部奥の壁内側に押し込みます。

スポンジフィルタを本製品に取り付ける

壁の内側にすき間をつくらないように取り付ける



注

- ・ スポンジフィルタのお手入れをした後は、必ず本製品にスポンジフィルタを装着してください。
- ・ スポンジフィルタを水洗いした際は、よく乾燥させてからお使いください。
 - ・ 乾燥が不十分のままお使いになりますと、吸じん力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因になります。
- ・ エアダスタなどでの掃除は避けてください。
 - ・ 粉じんなどが本製品内部に入り込み、故障の原因となります。

⚠ 警告

過負荷の原因を解消する際、必ずバッテリーを取りはずしてください（40 ページの“バッテリーのはずし方”を参照）。指や棒などをスポンジフィルタより奥に入れないでください。

- ・ 不意にスイッチが入るとスポンジフィルタの奥にあるファンが回りだし、けがや故障の原因になります。

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

保護機能

- ・ バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。モータが自動停止する際に、「バッテリー切れお知らせランプ」が約 10 秒間点灯した後、消灯します（21 ページの“バッテリー切れお知らせランプ（充電ランプ）”参照）。
 - ・ バッテリーを充電してください（18 ページの“充電のしかた”参照）。
- ・ 本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。モータが自動停止する際に、「バッテリー切れお知らせランプ」が約 10 秒間点灯した後、消灯します（21 ページの“バッテリー切れお知らせランプ（充電ランプ）”参照）。
 - ・ バッテリーを取りはずしてから、過負荷の原因を取り除いてください（バッテリーのはずし方は、40 ページを参照）。
 - ・ 原因を取り除けば再びお使いになれます。
- ・ 本製品またはバッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。モータが自動停止する際、「バッテリー切れお知らせランプ」が約 10 秒間点灯した後、消灯します（21 ページの“バッテリー切れお知らせランプ（充電ランプ）”参照）。
 - ・ 時間をおいて本製品およびバッテリーを冷ましてください。

故障かな？と思ったら

修理をお申し付けになる前に

次の解消方法をお試しの上、症状が解消できるか点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

- ・ 保護機能※が働き、本製品が機能停止している可能性があります。
- ・ バッテリーまたは充電器が故障している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電してください。

↓ バッテリーが充電できない

充電器の電源プラグが電源コンセントにつながっているか確認してください。

↓ バッテリーが充電できない

バッテリーの接続端子がしっかり接続されているか確認してください。

↓ バッテリーが充電できない

充電器のコードに傷がないか確認してください。傷があれば新しい充電器に交換してください。

↓ 解消しない

本製品およびバッテリーを十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

修理をお申し付けください。

※保護機能については 37 ページ参照。

故障かな？と思ったら

その他の症状一覧

症状	調べるか所	直し方
吸込力が弱い	・ 紙パックのゴミがいっぱいになっていませんか。	・ 紙パックを交換してください。
	・ ダストバッグのゴミがいっぱいになっていませんか。	・ ダストバッグのゴミを捨ててください。
	・ 紙パックが目づまりしていませんか。	・ 紙パックを交換してください。
	・ ダストバッグが目づまりしていませんか。	・ ダストバッグをはたか、洗浄してください。 (35 ページの“ダストバッグのお手入れ”参照)。
	・ バッテリーが消耗していませんか	・ 充電してください。
	・ パイプやノズルにゴミがつまっていますか。	・ パイプやノズルをはずして、ゴミを取り除いてください。
「バッテリー切れお知らせランプ」点灯後⇒消灯	・ バッテリーの容量が少なくなっています。	・ 充電してください。
「バッテリー切れお知らせランプ」点滅（継続）	・ バッテリーが熱くなっていますか。 ・ バッテリーが冷え過ぎていませんか。 ・ バッテリーの接続端子がきちんと接続されていますか。	・ 接続端子がきちんと接続されているか確認してください (42 ページの“バッテリーの取り付け方”参照)。

注

- ・ 表に従ってお調べいただいても直らないときはバッテリーが寿命の可能性がります。その場合さらに充電されますと充電器も故障する場合がありますので、修理をお申し付けください。
- ・ 修理はご自分でなさらず、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理をお申し付けされる場合は、クリーナ本製品の他に充電器も一緒にお持ちください。
- ・ 保証期間中は、保証書の規定に従って修理させていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書を添えてご持参ください。
- ・ 保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店、または当社営業所にご相談ください。
- ・ 修理すれば再びお使いいただける製品については、お客様のご希望があれば有料で修理いたします。

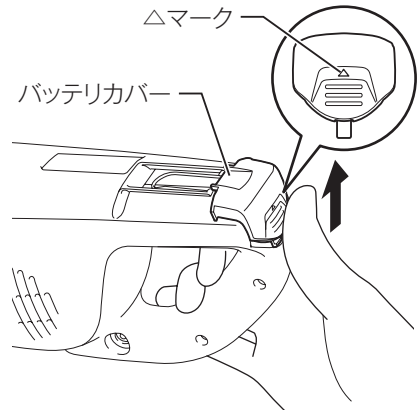
バッテリーの交換方法

⚠ 注意

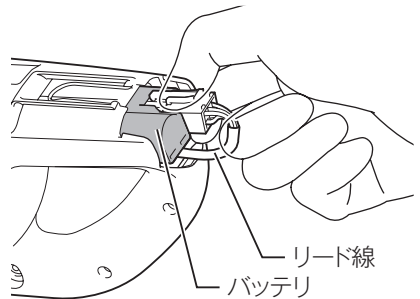
- 充電器の電源プラグをコンセントからはずし、本製品から給電プラグを取りはずしてください。
- 本製品の電源を切った状態で作業してください。
- 「モード切替ボタン」を触らないように注意してください。
 - 不意にスイッチが入るとモータが回りだし、事故の原因になります。

バッテリーのはずし方

1. バッテリーカバーを△マークの方向にはずします。

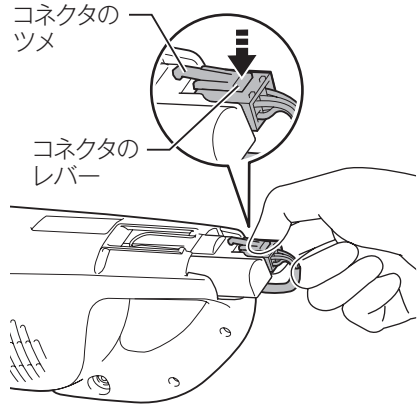


2. バッテリーを途中まで引き出します。

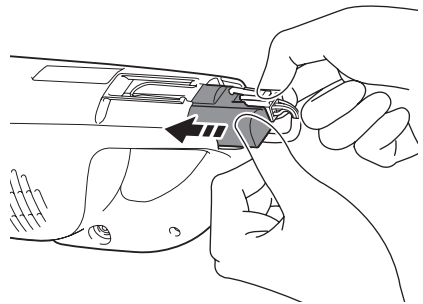


バッテリーの交換方法

3. コネクタのレバーを押さえて、コネクタのツメを浮かせます。



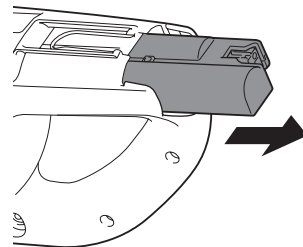
4. コネクタをはずします。
コネクタのツメが浮いてる状態で、バッテリーを本製品側へ押し込みます。



注

- 無理にコネクタを引っ張るとリード線が切れる恐れがあります。

5. バッテリーを引き抜きます。



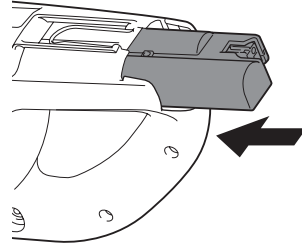
注

- 取りはずしたリチウムイオンバッテリーは短絡（ショート）しないように、接続端子部にビニールテープなどを巻いて絶縁してください。

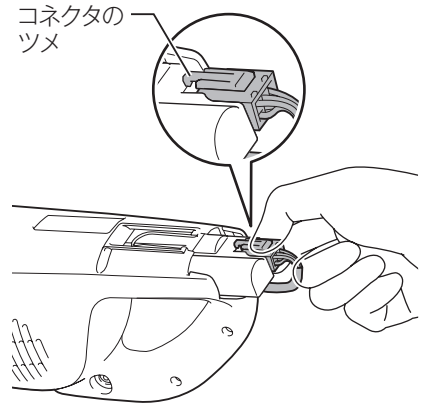
バッテリーの交換方法

バッテリーの取り付け方

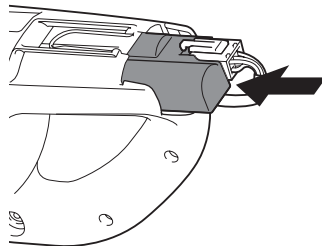
1. 新しいバッテリーを、途中まで差し込みます。



2. コネクタを、バッテリーの接続端子部にしっかりと接続します。
コネクタのツメが浮いていないことを確認してください。

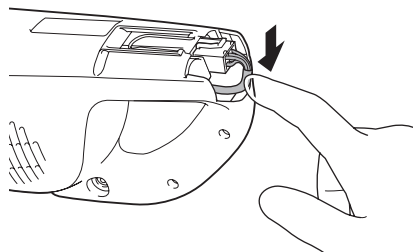


3. バッテリーを奥まで押し込みます。

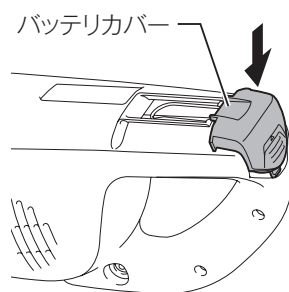


バッテリーの交換方法

4. リード線を図のように、本製品内に収めます。



5. バッテリーカバーを閉めます。



注

- ・ バッテリー交換後は充電してからお使いください（18 ページの“充電のしかた”参照）。

バッテリーの交換方法

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 吸い込みが弱くなってきたと感じたら使うのをやめて充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は気温 10℃～40℃で行うことをおすすめします。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）お使いにならない場合、バッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

注

- ・ 使用直後や直射日光のあたる所に長時間放置した本製品に、充電器の給電プラグを接続し充電されますと、充電ランプが赤く点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、本製品の温度が下がると充電を開始します。

本製品を廃棄処分するときは

- ・ お使いの充電式クリーナは、リチウムイオン充電電池（バッテリー）を内蔵しています。廃棄処分をされる際は、必ず内蔵のバッテリーを取りはずしてください（40ページの“バッテリーのはずし方”を参照）。

リチウムイオン充電電池（バッテリー）のリサイクルについて

- ・ 使用済みのリチウムイオン充電電池（バッテリー）は、リサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



Li-ion

リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

881G51C2

IWT